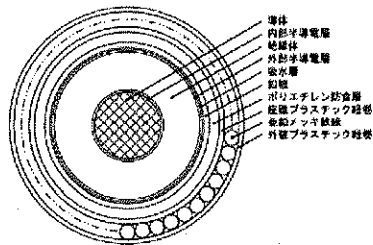


3) ケーブル仕様 (海底ケーブル)

- 送電容量：2GW
- 送電電圧：DC±525kV
- 許容電流：1905A(ケーブル1条あたり)
- 光ファイバ複合：無し
- 鉄線鎧装：一重(埋設可能箇所)及び二重(非埋設箇所)

■ ケーブル構造 (海底ケーブル)



1条敷設用

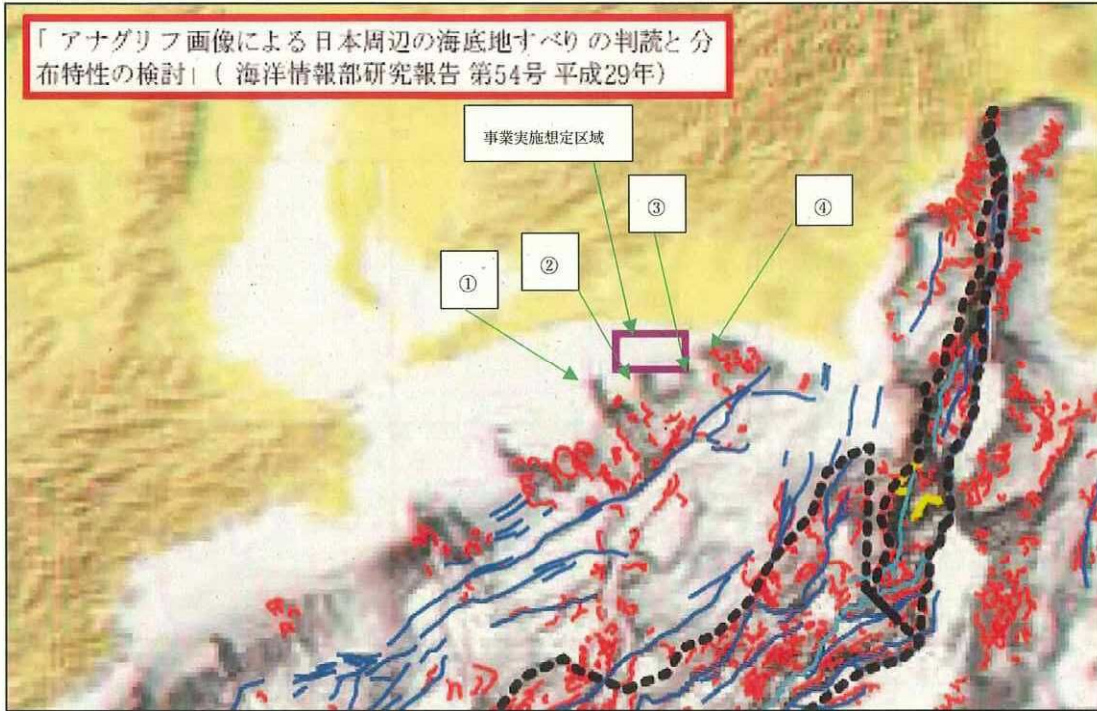
本線ケーブル

- 1800mm²(1重) : 外径157~165mm, 重量64~73kg/m
- 1800mm²(2重) : 外径177~185mm, 重量89~100kg/m

備線ケーブル

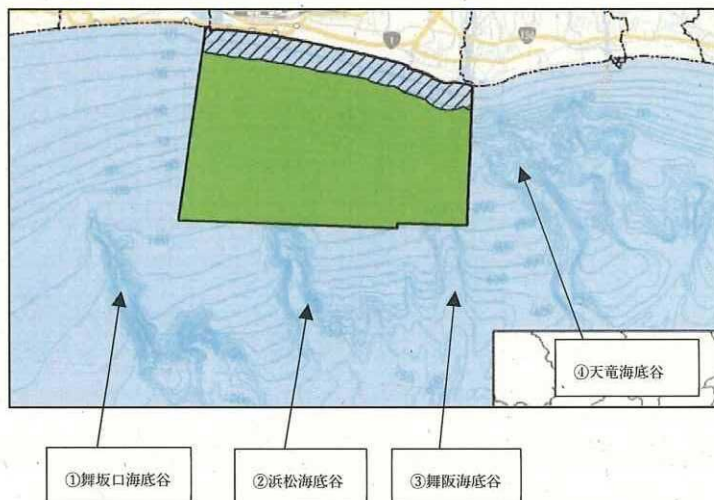
- 1800mm²(1重) : 外径124~130mm, 重量49~53kg/m
- 1800mm²(2重) : 外径144~150mm, 重量68~74kg/m

〔「第6回長距離海底直流送電の整備に向けた検討会 資料4」(経済産業省HP、2022年4月22日)より作成〕



駿河トラフから南海トラフにかけてのアナグリフ画像と地すべり（赤線，その中で面積 10km²以上は黄線），活断層（青線，その中で面積 10km²以上の地すべりと交差するものは水色線），および，統計的考察に用いた海溝陸側斜面の範囲（破線）。

〔「アナグリフ画像による日本周辺の海底地すべりの判読と分布特性の検討」
（海洋情報部研究報告 第 54 号 平成 29 年）より作成〕



関連文献一覧

- ・「アナグリフ画像による日本周辺の海底地すべりの判読と分布特性の検討」(海洋情報部研究報告 第 54 号 平成 29 年)
- ・「プレート境界を対象とした「重点検討課題」(地震予知連絡会 国土地理院 地理地殻活動研究センターHP)
- ・「詳細海底地形図に基づく南海トラフ域の海底地すべり分布とその特徴--南海トラフから天竜海底谷にかけての例 (総特集 海底地盤変動学のスズメ)」(月刊海洋 43(8))
- ・「南海付加体の海底地すべりを探る (総特集 海底地盤変動学のスズメ)」(月刊海洋 43(8))
- ・「南海付加体の海底地すべりはどのようにして生じているのか? (総特集 海底地盤変動学のスズメ)」(月刊海洋 43(8))
- ・「3秒グリッド DEM から作成したフィリピン海プレート北縁部の 3D 画像」(海洋情報部研究報告 第 47 号 平成 23 年)
- ・「6.複数の海底地すべりが同時発生した場合の影響検討」(原子力規制委員会 HP)
- ・「南海トラフの巨大地震モデル検討会 中間とりまとめ 参考資料集」(南海トラフの巨大地震モデル検討会、平成 23 年)
- ・「海岸平野の発達過程に基づく南海トラフ巨大地震時の地殻変更パターンの解明」(国土地理協会 HP)
- ・「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト 平成 28 年度 成果報告書」(文部科学省 研究開発局 国立研究開発法人 海洋研究開発機構、平成 29 年)
- ・「地震の脅威 東日本大震災と南海トラフの巨大地震」(土と岩、NO.60、2012 年)
- ・「浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち 地震以外の要因による津波について (補足説明資料)」(中部電力、平成 30 年) (原子力規制委員会 HP)
- ・「5 海底地すべりによる津波の伝播状況」(原子力規制委員会 HP)
- ・「駿河湾右花海北堆西斜面の海底地すべり」(静岡大学地球科学研究報告、7)
- ・「福井沖大陸斜面の海底地すべり」(地質調査所月報、45(5))
- ・「四国沖大陸棚斜面の海底地すべり調査と津波計算」(日本地球惑星科学連合 2019 年大会)
- ・「熊野灘～遠州灘沖の大陸棚斜面の海底地形と底質について」(The Journal of the Oceanographical Society of Japan, 16(2),1960)
- ・「詳細海底地形図に基づく南海トラフ域の海底地すべり分布とその特徴--南海トラフから天竜海底谷にかけての例」(月刊海洋,43(8))
- ・「海底活断層から発生する大地震の予測精度向上のための変動地形学的研究」(科学研究費補助金研究成果報告書、平成 23 年)
- ・「海底地すべり及び地すべり津波のリスク評価に向けた地震時海底地盤液化危険度の検討」(土木学会論文集 B3 (海洋開発) , 76(2),2020)

- ・「第二渥美海丘西斜面の海底地すべりの高解像度浅部地下構造探査」(日本地球惑星科学連合 2017 大会、ポスター発表)
- ・「第二渥美海丘北西斜面の海底地すべり地形と表層堆積物の特徴」(日本地球惑星科学連合 2016 大会、ポスター発表)
- ・「第二渥美海丘北西斜面上の地すべり堆積物の孔隙構造：AUV 調査結果と震探記録、検層記録の比較・検討」(日本地球惑星科学連合 2016 大会、ポスター発表)
- ・「Tsunamis and submarine landslides in Suruga Bay, central Japan, caused by Nankai-Suruga Trough megathrust earthquakes during the last 5000 years」(Quaternary Science Reviews 245 (2020))
- ・「過去 5000 年間の南海・駿河トラフ巨大地震による駿河湾の津波と海底地すべり」(静岡大学 HP)
- ・「遠州灘の海底地質」(地質学雑誌、68(801)、1962)
- ・「東海沖 海域地質構造データベース」(地質調査総合センターHP)